

# 量子エコシステム推進ワーキンググループ進捗

---



令和6年10月4日

内閣府

科学技術・イノベーション推進事務局

# 量子エコシステム推進ワーキンググループ設置

## 量子エコシステム推進ワーキンググループについて

〔 令和6年8月1日  
令和6年8月27日  
一部改正 〕

### 量子技術イノベーション会議

1. イノベーション政策強化推進のための有識者会議「量子技術イノベーション」（量子技術イノベーション会議）の下、これまでに統合イノベーション戦略推進会議で決定した「量子技術イノベーション戦略（2020年1月21日）」、「量子未来社会ビジョン（2022年4月22日）」、「量子未来産業創出戦略（2023年4月14日）」を強化し補完するためにまとめた「量子産業の創出・発展に向けた推進方策」（2024年4月9日統合イノベーション戦略推進会議に報告）の具体化検討（量子エコシステムの構築、スタートアップ/ベンチャー支援、人材育成等）を目的に、「量子エコシステム推進ワーキンググループ」（以下「量子エコシステム推進WG」という。）を設置する。
2. 量子エコシステム推進WGに主査及び主査代理を置く。主査及び主査代理、構成員は、別紙のとおりとする。なお、要すれば、主査代理が主査の担務を代行する。
3. 量子エコシステム推進WGは原則として非公開とする。
4. 主査は、量子エコシステム推進WGにおける審議の内容等を、議事録等の公表その他の適当な方法により公表する。ただし、主査が審議の内容等を公表しないことが適当であるとしたときは、その全部又は一部を非公表とすることができる。
5. 量子エコシステム推進WGの庶務は、関係行政機関の協力を得て、内閣府において処理する。
6. 前各項に掲げるもののほか、量子エコシステム推進WGの運営に関する事項その他必要な事項は、主査が定める。

別紙

主査 島田 太郎 一般社団法人量子技術による新産業創出協議会 代表理事

主査代理 寒川 哲臣 日本電信電話株式会社  
先端技術総合研究所 基礎・先端研究プリンシパル

岡田 俊輔 一般社団法人量子技術による新産業創出協議会 実行委員長  
仙場 浩一 量子イノベーションイニシアティブ協議会  
国立大学法人東京大学大学院理学系研究科付属  
フォトンサイエンス研究機構 特任教授

根来 誠 国立大学法人大阪大学 量子情報・量子生命研究センター  
准教授・副センター長

馬場 嘉信 国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構  
量子生命科学研究所長

藤原 幹生 国立研究開発法人情報通信研究機構  
量子ICT協創センター 研究センター長

堀部 雅弘 国立研究開発法人産業技術総合研究所  
量子・AI融合技術ビジネス開発グローバル研究センター  
副センター長

松岡 智代 株式会社QunaSys COO

眞子 隆志 国立研究開発法人科学技術振興機構 研究開発戦略センター  
ナノテクノロジー・材料ユニット フェロー

萬 伸一 国立研究開発法人理化学研究所  
量子コンピュータ研究センター 副センター長

（敬称略・順不同）

# WG開催日（実績、予定）

- 第1回 24年8月30日（金）10:00～11:00 キックオフ会議
- 第2回 24年9月18日（水）13:00～15:00 WG構成員による議論  
量子エコシステムの定義、WGで取り扱う領域
- 第3回 24年9月19日（木）16:30～17:30 有識者ヒアリング#1  
スタートアップ／ベンチャー企業経営者（ディープテック：再生医療）
- 第4回 24年10月10日（木）9:00～12:00 有識者ヒアリング#2  
スタートアップ／ベンチャー企業経営者（量子）

## （以降は調整中）

- 量子スタートアップと業務提携や資本提携、M&Aを考える企業
- スタートアップ／ベンチャー企業経営者（ディープテック：AI、フュージョン、衛星通信）
- ベンチャーキャピタル
- サプライチェーン企業（量子、非量子に関わらず、将来、または、今後参入の可能性のある企業・団体を含む。ただし、実ビジネスや産業にリーチしていること）
- 海外企業【別建て：Q-STAR/G-QuAT主催】
- 24年10月16日（水）15:00～18:00
- 24年10月28日（月）9:00～12:00
- 24年11月7日（木）16:00～18:00
- 24年11月28日（木）9:00～12:00、16:30～18:30
- 24年12月10日（火）10:30～12:30、14:00～16:00 WG構成員による議論  
ヒアリングまとめ、経済安全保障／量子産業等の議論

# 量子エコシステムの定義、WGで取り扱う領域（案）

## ■ WGで主に取り扱う領域

量子技術に特化した領域に閉じず、利用者サイドの視点から必要となるエコシステムを議論する。  
システム指向・SW・HW・コンポーネント・周辺装置・素材などを含めたエンジニアリングチェーンを前提  
（将来、あるいは、今後参入の可能性のある隠れたサプライチェーンまで）

## ■ 論点（現状の課題、方策等）、エコシステム

a. 我が国が世界のクラブメンバーに参画し、グローバルサプライチェーンの中でイニシアティブを発揮する  
そのためには、

b. スタートアップ／ベンチャー企業や新事業、新市場の創出、これらを成長させていく  
そのためには、

c. 我が国が世界から注目される優れた技術を創出し、技術を継続して育成していく

d. 日本企業の海外進出や、海外企業を誘致して量子産業や量子技術の利用者、市場を拡大する  
+ 今後サプライチェーンの一角を担う企業を発掘、参入を支援、育成していく

## ■ ヒアリング対象（アンケート併用）

- スタートアップ／ベンチャー企業経営者（量子）
- スタートアップ／ベンチャー企業経営者（非量子のディープテック） # 参考として先行分野  
再生医療、AI、フュージョン、衛星通信
- 量子スタートアップと業務提携や資本提携、M&Aを考える企業
- ベンチャーキャピタル
- サプライチェーン企業（量子、非量子に関わらず、将来、または、今後参入の可能性のある企業・  
団体を含む。ただし、実ビジネスや産業にリーチしていること）
- 海外企業（海外スタートアップ、海外ベンチャーキャピタル）